第４回（３月）　会議録（主な意見）

○「地域」のウェルビーイングについて、第3回会議（「人」のウェルビーイングについての心理状態）を踏まえ、以下のようなご意見をいただいた。

・子供たちの安全・安心のために登下校時に見守り活動をしている地域。公民館という地域の拠点が世代間交流の場となり、温かみのある人間関係を持ち続けられるようになることが大切。

・人が集まる機会や気軽に集える場がある地域。失敗しても皆が助け合える環境づくり、仲間づくりができる地域であってほしい。独り暮らしの方も気軽に相談でき、ご隣近所同士の温かいつながりがある地域。

・地域の人が元気で明るくて生き生きとしている、地域のことを考えてくれる人がいて、顔見知りになれる地域では、声を掛け合うことによって、子育てのしやすい輪が広がっていくのではないか。

・地域に対して主体的に考えようとする地域。ここの地域ではこういった活動をしている人がいるとわかることで、地域への関心も高まるのではないか。各種団体との連携も地域の活性化につながる。

・住民との協働活動の重視、支え合い・助け合いの雰囲気のある地域。学習成果を活かすことができる地域。

・世代間の違いを認識した上で、公民館では参加しやすい講座、好奇心をくすぐるような工夫を通じて、参加者が地域に誇りを感じられるような地域。

・地域の歴史、伝統、文化が伝承され、地域に愛着がもてるような地域。地域の安全・安心に各種団体が一緒に取り組んでいく地域。

・子供の活動が多種多様で、子供が楽しんでいる姿をよく見ることができる地域。そのためには大人の力も必要であり、協力し合うことでつながりが強くなる。そんな大人の姿が子供の手本にもなり、持続可能な地域となっていく。

・子供たちの声が聞こえる地域、そのための遊び場等の充実、親の働く場所、子供を生み育てやすい環境、ネット環境の整備ができていると移住者や外国からの訪問者などが増え地域の活性化につながるのではないか。

・地域に子供たちが役割をもって活躍できる場があると自己肯定感を育むことにつながる。地域の方が授業のゲストティーチャーとなり、学習活動にゆるやかに関われるような学校や地域であるといい。